

特集

教える力を養うための継続研修

FDを教育力UPのための継続教育の視点でとらえる

近藤麻理

看護の教員養成において足りないものを補うには 新保幸洋

看護教員に継続して学んでほしい『教育』をあらためて

考える 松原定雄

継続教育研修に求められるものは実際に得られているの

か 江川万千代

[座談会]教育力UPのための効果的な継続教育を求めて

佐藤浩章／鳥井元純子／杉原多可子

【特別記事】

教育実践と研究業績を結びつける Sotl 大山牧子

看護教育はすでにアクティブラーニングである 安永悟

【新連載】

優れた“わざ”をどう伝えるか——技術の「背後にある意味」を教える

阿保順子／川嶋みどり

「配慮が必要な学生」の学びにつなげる対応——臨地実習における教育上の

調整を考える 飯岡由紀子

学生なら誰でも知っている 看護コトバのダイバーシティ 木村映里

【連載】

だから私はこう書いた 系看著者のフィロソフィー・5 内布敦子

グループワークの“達人”への道・7 三浦真琴

東西南北！ 学生募集旅日誌・7 高塚由香里

編集後記

●「音楽の教師が生徒にできる最善のことは、生徒を鼓舞し、感情的な反応を引き出させること。音楽のためばかりではない。人生のあらゆる場面で重要なことだから」。これは、一流のピアニストでありながら、50歳を機に突如引退し、以後34年を「教える」ことに捧げてきたシーモア・バーンスタインを描いたドキュメンタリー映画「シーモアさんと、大人のための人生入門」のなかの言葉です。「ちょっと思いついたんだが」と、たぶん昔から考えてきたはずのヒントを口にして、それをきっかけに生徒自らに深く考えさせるシーモアさんの指導法は、最初の言葉同様、まさに「待つ」教育の実践です。●弊誌読者のように教育に携わる方はもちろん、ちょっと生きづらいなと感じている方にもぜひ見ていただきたい作品です。シーモアさんの口からこぼれる珠玉の言葉からきくと何かをつかみとれるはずですよ。……大野

●今回の特集では、リベラルアーツとして「身体知」を取り上げました。身体を語る、教えることをちょっと見直してみるきっかけになれば幸いです。●身体を意識する場面といえば、自分にとっては歩くことです。冷え症のせいで10代末からよくマッサージに行くのですが、あるとき、この年齢でこの筋肉の固さはない、きつときちんと歩けていないからだ、という叱責をされ、施術もそこそこ、ベッドの横で歩行訓練をしました。いち、に、いち、に、とマッサージ師に声をかけられながら下半身を使う練習をしていると、これが歩くということか、もうすぐ成人なのに、自分は一歩もちゃんと歩いたことがなかったんだ、という妙な感動が湧いてきました。……番匠

◎編集室ツイッター
http://twitter.com/KANGOKYOIKU

看護教育 第57巻 第12号 2016年12月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2016, Printed in Japan

(1部) 定価：本体1,500円＋税

2016年・年間購読料(増大号を含む12冊)：冊子版15,540円、冊子＋電子版／個人18,540円、電子版／個人15,540円(いずれも＋税、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/16/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

『看護教育』 バックナンバーのご案内

(1部) 定価：本体1,500円＋税
年間購読 好評受付中！
電子版もお選びいただけます。

Vol.57 No.11

2016年11月

特集

使える「患者役」になろう！

看護教育においては、常に「患者役」が必要となります。ペーパーベシエントや数値だけの事例を除けば、授業から演習、技術の習得から接遇対応のシミュレーションまで、患者役が存在しない場面はないと言ってもいいでしょう。ただ、高度な教育を受けたSP(Standardized Patient)が不可欠なOSCEはともかく、訓練された模擬患者を授業で活用できる機会は限られていますし、臨床看護師に患者役で協力してもらうのも、常にとはいきません。当然教員がその役割の大半をこなすことになります。

大抵の教員は、自らの臨床経験と学んだ知識で患者役を演じます。けれども、そこに目的達成のために「演じている」という意識はあるのでしょうか？さらに言えば、学生に患者役をさせる際に、「演じる」ことを意識させているのでしょうか？

今回の特集では、教員が患者役を演じることの重要性を再認識していただいたうえで、いかにすれば教育効果を高める患者役になれるかを考えていただくものです。模擬患者教育の実情や正式な養成を受けた模擬患者の演じ方を参考に、より使える患者役になっていただきたいと思います。

- 教員や学生が「患者役」になる意義をあらためて考える 屋宜譜美子
- 模擬患者教育の立場からみた「患者役」の演じ方 福井みどり
- 模擬患者に聞く「患者役」のあり方 佐藤睦子／斎藤文江／長谷川克
- 学生の段階的技術試験や新人看護職員合同研修における「OG ナース」の模擬患者としての活用 若林亜由美／田口恵美子／高口みさき
- 【対談】「演じる」視点からロールプレイを再考する 有馬葉子／運行



Vol.57 No.10

2016年10月

特集

「病態関連図」をおもしろく！

病態関連図を学生さんたちはしっかり書いているのでしょうか？そして、「おもしろく」書いているのでしょうか？

患者さんに関する情報の関連を示した図である病態関連図は、入手した情報を整理し、これから看護する患者さんの全体像を把握するのにとても便利なものです。特に初めての演習において看護過程を展開するのに役立つため、多くの学校で取り入れられています。ただそんななか、「病態関連図は苦手！」という学生の声は珍しくありません。

本来「図」というものは、なんらかの情報を得て、それをまとめるのに、文字だけを書き連ねるよりも、その情報どうしがいかに有機的に結びついているかの理解を助けてくれるものなので、わかりやすいはず。それが苦手とされるには、なんらかの理由があるはず。

今回の特集では、本来学生のためになるはずの病態関連図作成が好まれないわけと、その解決法を探り、図の作成や読み解きが楽しくなるような指導法を模索します。さらには、「病態関連」にこだわらず、他の形式での図作成にトライするという選択肢も提案します。いずれにしろ、学生がそこに「おもしろさ」を見出してくれさえすれば、患者さんの理解はよりいっそう進むことと思います。

- 病態関連図の「おもしろさ」と「大切さ」を伝える！ 藤井徹也
- グループワークによる病態関連図の学習——看護基礎教育での演習の展開 矢富見子／川本祐子／井上智子
- 看護実践力につながる思考を育てるための試み——学生が自由な発想で看護を見つけられるよう「病態関連図」を変えてみる 波多野文子／高東ひとみ／佐藤真紀
- 【座談会】病態関連図をおもしろく書くためにできること 藤井徹也／関原末沙央／文倉志信／須崎美穂



【2016年9月号(Vol.57 No.9)】

さあ、臨床判断モデル

【2016年8月号(Vol.57 No.8)】

論理的に書こう！

【2016年7月号(Vol.57 No.7)】

論理的に話そう！

【2016年6月号(Vol.57 No.6)】

看護過程再考

【2016年5月号(Vol.57 No.5)】

「気持ちのいい」ケアを
教えよう！

【2016年4月号(Vol.57 No.4)】

あなたの「見方」に現象学を

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2014年10月号(Vol. 55, No.10)以前の号は、東亜ブック(TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, http://www.toabook.com/) 2014年11月号(Vol. 55, No.11)以降の号は、医学書院販売部(TEL.03-3817-5659)にお願いします。